

富士大学研究者情報

経済学部経済学科

教授

古川 光彌太

ふるかわ みつやた

研究者基本情報

生 年	昭和20（1945）年
最終学歴	早稲田大学経済研究科修士課程修了
取得学位	経済学修士
学位取得年月	昭和48（1973）年3月
出身地	茨城県
専門分野	金融論
担当講義	統計処理と社会、統計学概論、金融論、専門基礎演習、専門演習Ⅰ・Ⅱ
所属学会	経営工学会、経営情報学会、生活経済学会
長期研究テーマ	テリトリー意識にもとづく経済人の社会認識
短期研究テーマ	東北中部地域の地域開発の提言
1年以内に発表予定の研究業績	今年度『富士大学紀要』の第2号に執筆予定

研究業績（2017年9月末日現在）

【論文】

1	「花巻市小売商店主の行動 ——数量化理論による分析——」『富士大学紀要』第9巻第2号、1977年3月、13-30頁。
2	「ゼロ・サム社会における経済人」『富士大学紀要』第15巻第2号、1983年3月、137-147頁。
3	「コミュニティ・マート構想に関する一考察」『富士大学紀要』第19巻第1号、1986年11月、73-87頁。
4	「地域共同体資本主義の出発点」『富士大学紀要』第19巻第2号、1987年3月、53-72頁。
5	「日本の企業グループと銀行との関係」『富士大学紀要』第22巻第2号、1990年3月、13-27頁。
6	「産業分類と金融業」『富士大学紀要』第30巻第1号、1997年7月、51-67頁。

【学会発表】

1	「北上市商店主の商圈意識について」地域学会全国大会（摂南大学）1990年10月。
2	「社会の認識における方法論 ——日本とアメリカ社会——」経営情報学会春季全国大会（慶應義塾大学）1998年5月。

3	「欧米の社会認識に対する日本的経営」 経営情報学会春季全国大会（千葉工業大学） 1999年5月。
4	「IT革命時代における社会認識の転換」 経営情報学会秋季全国大会（岩手県立大学）2000 年10月。
5	“ Homo-Economicus in the Society of that Age” Oxford Round Table, Harris Manchester College Oxford, History, 2006年8月.
6	“ Homo-Economicus in the an Information-Oriented Society” Oxford Round Table, Harris Manchester College Oxford, An interdisciplinary perspective, 2007年8月.

【社会的活動】

1	花巻市 産業支援アドバイザー
2	富士大学花巻市民セミナー 2007年10月10日 「高齢化社会のための中心市街地再開 発」
3	富士大学北上市民セミナー 2007年11月14日 「高齢化対策が求める今後の中心市街地 再開発」